

1 沼田を発明の町にすることについて

ただいまの^{ちかおかとしき}近岡利輝議員のご質問にお答え申し上げます。

はじめに、^{ちかおか}近岡議員には、9月に開催いたしました「沼田市発明くふう展」にご出品いただき、ありがとうございました。

さて、沼田を発明の町にすることについて、であります、日本は「モノづくりの国」と言われ、ちょっとした発想や創意工夫で産業を発展させてきました。

^{ちかおか}近岡議員おっしゃるとおり、沼田の人が発明に興味を持ち、様々な分野で発明品が生まれることは、本市の産業の活性化につながっていくものと考えております。

たとえば、利根実業高校の食品文化コースの生徒さんが開発して、今や本市の名物となった「えだまメンチ」。その製造の課題であった枝豆のサヤ剥き^むの手間を解消するため、今度は機械コースの皆さんが工夫して、サヤ剥き機^むを開発し、群馬県テクノフェアーに出品され最

優秀賞を獲得されています。

沼田を元気にしていくためには、将来を担う若い人たちの新しい感覚と柔軟な発想が必要であり、皆さんには、是非、大きな夢を持って、色々なものを見て、触れて、経験していただきたいと思います。

ご提案の発明カフェや講座など、新たな発明や発想ができる場を作ることににつきましては、今後、研究してまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、^{ちかおかとしき}近岡利輝議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。